



株主の皆様へ

## 第72期 報告書

2024年4月1日 ～ 2025年3月31日

暮らし・心・環境に。プラスイノベーション。

**+++ INNOVATION**

株主の皆様へご送付しておりました期末の報告書につきましては、当社ホームページの内容と重複していることに加え、地球環境等に配慮したペーパーレス化の推進により、第73期(2026年3月期)より発行および発送を取り止めさせていただきます。また、中間報告書につきましては当社ウェブサイトのみ掲載することとし、紙面による発送を取り止めさせていただきます。

**NANKAI**  
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

証券コード 7887

## [ 経営理念 ]

私たち南海プライウッドは、  
独自の発想と経営で革新にチャレンジし、  
お客様の求める真の価値を創造し、  
ステークホルダーおよび社会との  
調和ある安定成長を実現します。

## [ コーポレートステートメント ]

この理念のもと、企業の社会的責任を追求しています。  
安心・安全・快適。品質第一のものづくりを推進し、  
自然と住まいに優しい環境優先型製品の開発を通じ、  
住宅文化の発展向上と持続可能な社会を目指すとともに、  
法令を遵守した公正な社会創りに貢献するために  
社会に対し3つの誓約を実践します。

### 行動規範 理念実現のための 3つのPROMISE

## 1 暮らし+INNOVATION

安定持続社会のために企業倫理を守ります。  
ステークホルダーの安心の暮らしを守るために  
CSR/コンプライアンスを経営の中枢においた  
態勢を構築します。

## 2 心+INNOVATION

お客様の心を満たします。  
大切なお客様の笑顔を守り、  
信頼を築く態勢を構築します。

## 3 環境+INNOVATION

あらゆる環境の持続に努めます。  
自然・社会・人の環境持続を優先した  
態勢を構築します。

## ごあいさつ

代表取締役社長

丸山 徹



当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や、円安の影響によるインバウンド需要の拡大が進行し、緩やかな回復傾向となりました。一方で、中東やウクライナ情勢など地政学的リスクの影響により、資源・エネルギー価格ははじめとした物価は依然として高止まりの状況にあり、米国の政策動向など世界経済の下振れリスクも多く、国内経済の先行きは不透明な状況が続いております。

住宅関連業界におきましては、建築資材価格や、労務費、運賃等の上昇により住宅価格が高騰していることに加え、日銀の金融緩和と政策の転換に伴う住宅ローン金利上昇の懸念から、住宅取得マインドの低下が一層強まり、今後の経営を取り巻く環境は益々厳しさを増しております。

このような状況のなか、当社グループは主力の木材関連事業で、主に為替対策による資材価格高騰への対応や、更なる物流コスト低減のためのサプライチェーンの見直し等、各種コストダウンを徹底し、物価上昇圧力による販売価格への転嫁を極力抑えるための取組みに努めました。また、収納製品のシェア拡大を目指し商品ラインナップの拡充を継続いたしました。更に、リフォーム市場や集合住宅市場の開拓にも積極的に取り組み、リフォーム市場における売上高は前年より大きく伸ばしております。当社は全国に4か所の収納特化型ショールームを展開しており、今年度は6,800名を超えるお客様が来場される等、想定以上の盛況となりました。更に、当社の公式インスタグラムはフォロワー数が8.4万人まで増加し、公式YouTubeチャンネルにおいて新商品「ラクロ」の紹介動画の再生回数は36万回に到達する等、SNSを通じた当社製品の認知度向上の取組みにも大きな手応えを得ることができました。今後も、高品質でお客様の暮らしをより快適にする商品を積極的に展開していくとともに、体感型ショールームやSNSツールを掛け合わせた積極的な情報発信を推進し、収納のトップメーカーを目指してまいります。

電線関連事業では、資材価格の高騰による電材の仕入価格が更に上昇しており、利益を圧迫する状況が一段と厳しさを増しております。このような市場環境において、価格競争に対応するための価格設定や利益管理を徹底し、大型物件と小口物件それぞれの販路開拓に積極的にチャレンジしてまいります。

一般管工事関連事業では、業界全体の人材不足問題が深刻な状況である中、当社グループも同様に人材不足の状況が継続しており、引き続き現場管理の人員や体制の整備強化が必要な状況が継続しております。市場環境は好調であることから引き続き技術向上や人材確保に努め収益拡大に取り組んでまいります。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高24,921百万円(前年同期比4.8%増)、営業利益961百万円(前年同期比13.4%増)、経常利益1,655百万円(前年同期比10.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益101百万円(前年同期比89.3%減)となりました。

今後も株主の皆様のご期待に応えるべく、グループ一丸となって取り組んでまいりますので、皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年6月

BRAND NEW PRODUCT



## 納戸スペースをさらに機能的にする収納製品をリリース! 顧客満足度向上! 納戸スペースが片付かない悩みを解決! 集中収納特化型のシステム収納「モノック」を新開発!

「モノが片付く収納方法」をテーマに、納戸スペースを上手に活用できるシステム収納! モノを1ヵ所で計画的に管理する「集中収納」を可能にするストックルーム収納「モノック」をリリース!

「集中収納」とは1つの部屋にモノを集めて収納する方法で、1ヵ所に集めることで、モノの過不足などの管理がしやすくなります。

また、1ヵ所で管理することにより各部屋へ収納したり探しに行ったり、あちこち移動する手間を削減できます。収納するモノの種類や大きさ・使い方に合わせてパーツを自由にプランニングができるストックルーム収納「モノック」を新開発し、リリースいたしました。



どんなインテリアにもなじむ  
カラーラインナップ!



掃除用具収納プラン

BRAND NEW PRODUCT



## 2つの製品で人気のグレー色を新しくラインナップ! 顧客ニーズを実現! フリモとアドキューブに新しく パールグレーとダークグレー色が変わり、インテリア性が向上!

アクセントクロスで人気のグレー色を新たに2色ラインナップ。  
製品の調和がとれ、住空間のインテリア性を高めることができます。

ナチュラル系や温かみのある北欧系のインテリアには、ライトなパールグレー色を。  
モダンテイストな空間にはダークグレー色を取り入れると、クールでスタイリッシュな印象に。

NEW COLOR

PG

DG

パールグレー

ダークグレー



キッチンパネル収納「フリモ」  
パールグレー



キッチンパネル収納「フリモ」  
ダークグレー



壁厚ニッチ収納「アドキューブ」  
パールグレー



壁厚ニッチ収納「アドキューブ」  
ダークグレー

## 決算ハイライト

### 連結損益計算書

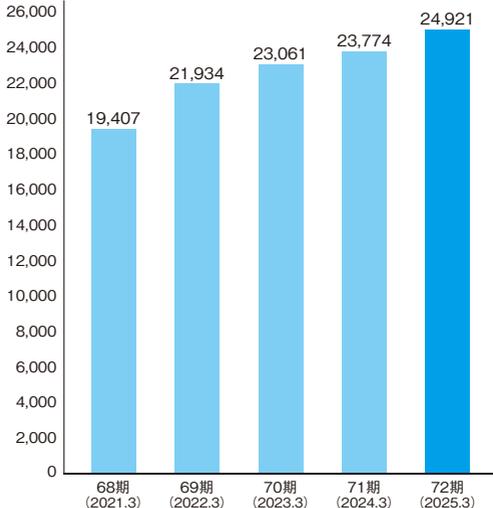
(単位:百万円)

	前連結会計年度 2023年4月1日から 2024年3月31日まで	当連結会計年度 2024年4月1日から 2025年3月31日まで
売上高	23,774	24,921
売上原価	17,093	17,752
売上総利益	6,681	7,168
販売費及び一般管理費	5,832	6,207
営業利益	848	961
営業外収益	1,203	978
営業外費用	207	284
経常利益	1,844	1,655
特別利益	9	10
特別損失	24	679
税金等調整前当期純利益	1,829	986
法人税等	862	869
当期純利益	967	117
非支配株主に帰属する当期純利益	18	15
親会社株式に帰属する当期純利益	948	101

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ▽売上高の推移

(単位:百万円)



### 連結キャッシュ・フロー計算書

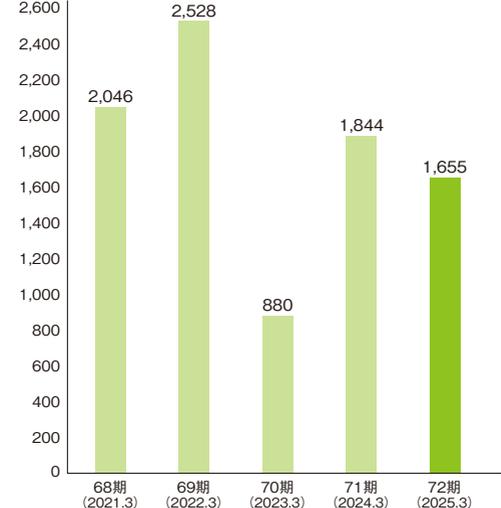
(単位:百万円)

	前連結会計年度 2023年4月1日から 2024年3月31日まで	当連結会計年度 2024年4月1日から 2025年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,414	2,461
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,631	△1,978
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,301	△672
現金及び現金同等物に係る換算差額	42	△7
現金及び現金同等物の増減額	524	△196
現金及び現金同等物の期首残高	2,986	3,511
現金及び現金同等物の期末残高	3,511	3,314

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ▽経常利益の推移

(単位:百万円)



## 当期の概況

### (木材関連事業)

当セグメントにおける、国内市場については円安相場による仕入コストの上昇に対する為替対策やその他のコスト全般に対する削減施策を徹底し、販売転嫁への影響を極力抑えることに注力いたしました。また積極的な商品展開やSNSを活用した販売促進の取組み等を実施した他、リフォーム市場や集合住宅市場への販路開拓も推進いたしました。その結果新設住宅着工戸数が落ち込むなか、前期以上の国内売上高を確保することができました。海外市場については、フランス子会社の合板製造販売事業において、製造工程の見直しおよび販路開拓による黒字化を目指しております。これまで原材料であるフランス海岸松合板の材質に起因する歩留まり改善策として設備投資や生産工程の省エネ化等を推進してきたことにより、製造原価は当初計画の水準まで改善いたしました。

しかし、欧州経済の停滞が継続していることから、海岸松合板に関する市況も悪化しており、販売数量および操業度の回復が今後の経営改善の重要課題となっております。引き続き販売体制の強化と販路拡大を推進し黒字化を目指してまいります。

この結果、当セグメントの業績は、売上高22,263百万円(前年同期比3.2%増)、セグメント利益852百万円(前年同期比16.8%増)となりました。

### (電線関連事業)

当セグメントでは、新規顧客の開拓、小口販売の拡充等の営業強化に取り組みました。電材仕入価格の高止まりの状況や業界内の価格競争が継続しておりますが、大型物件の受注を獲得できたことにより、今期の売上高は堅調に推移いたしました。しかし大型物件の利益率は小口販売と比較して低い傾向がありセグメント利益率は前年同期より低下する状況となりました。

この結果、当セグメントの業績は、売上高2,085百万円(前年同期比27.6%増)、セグメント利益23百万円(前年同期比6.5%減)となりました。

### (一般管工事関連事業)

当セグメントでは、引き続き顧客の設備投資および設備改修工事が好調であり、今期も安定的に工事物件を受注することができました。しかし資材価格の高止まりの状況は未だ継続しており、利益額は前年同期より低下する状況となりました。

この結果、当セグメントの業績は、売上高572百万円(前年同期比2.8%増)、セグメント利益58百万円(前年同期比11.1%減)となりました。

## 次期の見通し

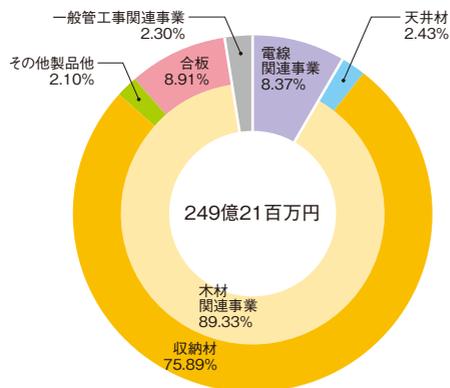
今後の我が国の経済情勢は、賃金、雇用情勢の改善や企業の設備投資が拡大傾向となることから、引き続き景気は緩やかに回復する見込みではありますが、米国の政策による影響が不確定であることや貿易摩擦の再燃、中国経済の減速など世界経済が悪化する可能性もあり、依然として先行き不透明な状況が続いています。

住宅業界におきましては、人件費、原材料費、エネルギー費の上昇による住宅価格の高騰や、住宅ローン金利の上昇により、新設住宅着工戸数は厳しい状況が続くと思われれます。

このような状況の下、当社は引き続き国内住宅市場における収納材のトップメーカーを目指し、市場シェア拡大に邁進してまいります。当社が主力とする収納建材には商品ラインナップ拡充の他に、販売形態の拡充、リフォーム/リノベーション市場等での成長など未だ収益拡大の掘り下げ余地が十分にあると考えており、来期も新築戸建て市場を中心としつつ様々な収益力強化のための取組みを推進してまいります。一方で、持続的な企業成長を実現するため売上拡充のみならず為替変動に強い企業体質の構築が必要不可欠であることから、グループにおける海外売上上の比率を向上させることが重要です。そのため海外市場においては、フランス子会社やインドネシア子会社で製造した建築資材の販売拡大を目指し、戦略的な商品開発や体制の整備に取り組んでまいります。生産面においては、より一層の効率化によるエネルギー費、原材料費の削減、配送効率の向上など各種コストダウンに努めるとともに、品質改善を推し進め、引き続き高品質な製品を安定して市場に供給できるよう努めてまいります。

次期は、連結売上高26,000百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益2,000百万円(前年同期比108.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,000百万円(前年同期比890.1%増)になるものと予想しております。

### ▼セグメント別の連結売上高構成(連結)



## 株式の状況

(2025年3月31日現在)

### 総数

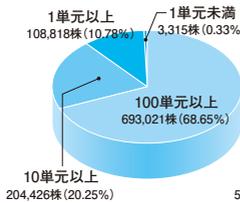
発行可能株式総数	2,000,000株
発行済株式の総数	1,009,580株
株主数	701名(前年度期末比4名増)

### 大株主(上位10名)

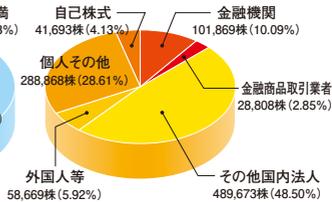
株主名	持株数	持株比率
南海興産株式会社	241,309株	24.93%
公益財団法人南海育英会	155,450	16.06
株式会社百十四銀行	46,779	4.83
小林茂	30,275	3.12
四国興業株式会社	24,563	2.53
株式会社愛媛銀行	24,310	2.51
丸山徹	23,876	2.46
INTERACTIVE BROKERS LLC	20,400	2.10
株式会社商工組合中央金庫	20,000	2.06
上田八木短資株式会社	20,000	2.06

(注)当社は自己株式41,693株を所有しております。なお、持株比率は当該自己株式を発行済株式の総数から控除して算出しております。

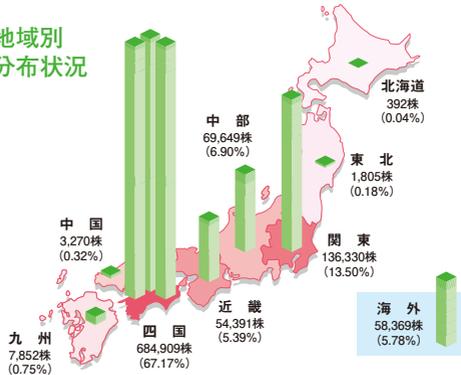
### 所有株数別分布状況



### 所有者別分布状況



### 地域別分布状況



## 会社概要

(2025年3月31日現在)

商号 南海プライウッド株式会社  
 本社 〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号  
 電話 087(825)3615 (人事総務グループ)

インターネットホームページ <https://www.nankaiplywood.co.jp>

設立 昭和30年4月16日  
 資本金 21億21百万円  
 従業員数 434名(連結1,780名)  
 事業内容 建築内装材の製造・販売  
 事業所 志度工場  
 〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地  
 物流センター  
 〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1  
 朝日新町資材物流センター  
 〒760-0064 香川県高松市朝日新町36番52号

## 役員

(2025年3月31日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	執行役員	渡邊 浩平
取締役 上席執行役員	丸山 宏	執行役員	清水 広志
取締役 上席執行役員	藤本 英二	執行役員	松下 直樹
取締役 上席執行役員	大川 正仁	執行役員	西谷 文雄
取締役 上席執行役員	浮田 貴仁	執行役員	野生須 賢司
取締役(社外)	村田 剛	執行役員	丸山 瑛
常勤監査役	玉置 康洋	執行役員	原 朋仁
監査役	岩部 達雄		
監査役	中西 裕司		

## 連結子会社

(2025年3月31日現在)

木材関連事業 南海港運株式会社  
 PT.NANKAI INDONESIA  
 NP ROLPIN SAS  
 ROLKEM SAS

電線関連事業 ナンリツ株式会社

一般管工事業 南海化工株式会社

## 株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月に開催いたします。
- 基準日 定時株主総会の議決権 3月31日  
期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日  
※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
- 公告方法 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。  
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード 7887)
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 郵便物送付先／各種お問合せ先  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話 0120-094-777(通話料無料)

## お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取り等のお申し出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
なお、証券会社に口座のない株主様につきましては、当社が特別口座を開設し管理していますので、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未払配当金のお支払いについて  
株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。